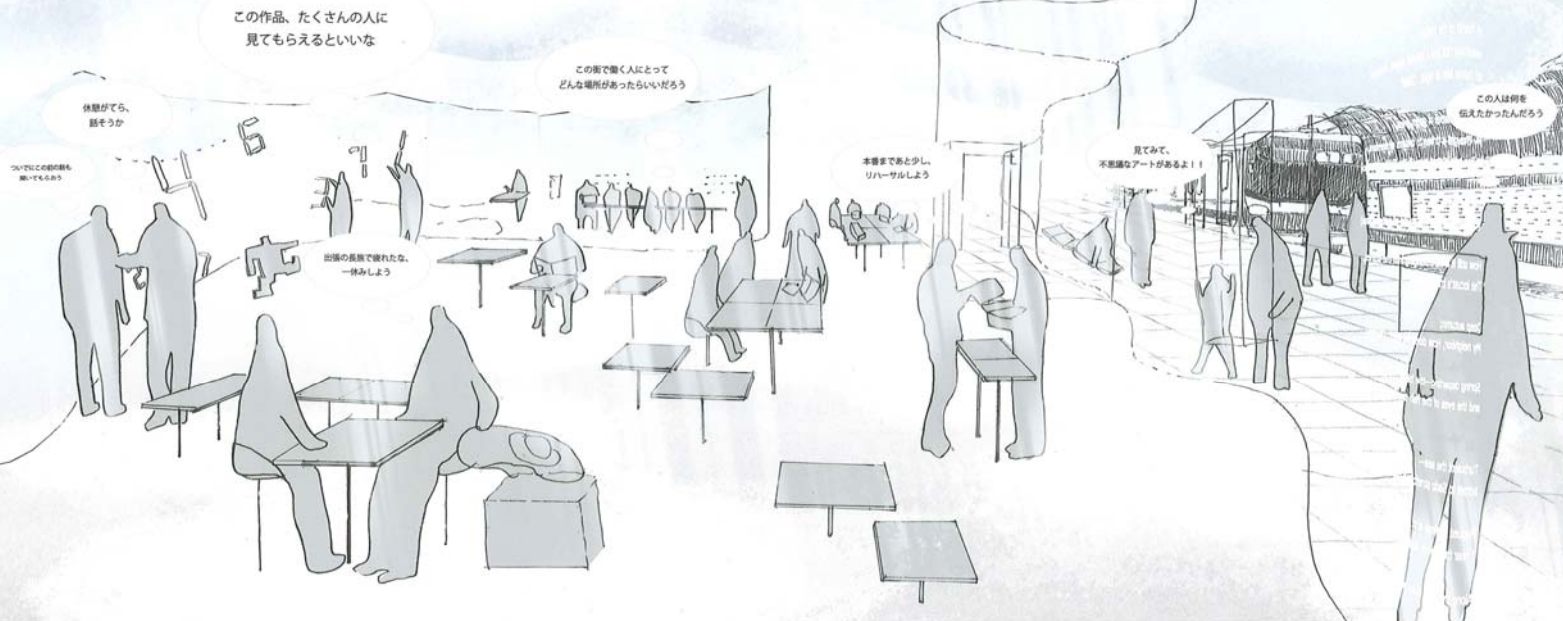


くもりのちはれのえき



CONCEPT

雲の切れ間から太陽の光が差し込んだ時、時間を忘れはつとした経験はないだろうか？ 光が起こす偶然の変化は人の五感に訴えかける最もプリミティブな現象の一つである。変化は、普段と違った時間間隔と空間を創り、気づきやすさを引き起こす。

多くの人々が利用し、様々な刺激を与えるであろう地下鉄のプラットフォームに隣接してワークスペースを計画する。地下鉄風を利用することで光の粗面を作りだす屋根システムはワークスペースに様々な変化を与える。不特定多数の人や様々な光との出会い、必然的な偶然性を生み出し、知的生産性を高める場へと変換するのである。

ANALYSIS

■ワークスペースの多様化

オフィス課題に基づく現状のワークタイムの時間配分



私たちの働く環境は情報技術の発達によって多様化し、オフィスの自席といった固定の場所にとらわれなくなってきた。

SITE

■駅空間のワークスペース化



地下鉄駅を知的生産性を高める空間の対象と考える。

地下鉄はオフィスワーカーに限らずあらゆる人に利用されている。駅にはたくさんの人が集まり、情報や文化が集まる。知的創造性を高めるきっかけや可能性を持っていると考えた。提案する空間は、駅と共にあるワークスペース拠点。そこでは、人々が集まり、多彩な刺激による気づきの創出や、不特定多数の出会い、待ち時間の有効活用、作品展示や商品展示が行われる。

■ネットワーク型ワークスペース

駅に広がるネットワーク型ワークスペースの時間配分



地下鉄駅をワークスペース拠点のひとつと考える。地下鉄は、都市の下を隙間なく横断している。地下鉄駅のいくつかを知的生産性を高める施設とすることで、地下鉄路線を、ひいては都市全体をワークスペースとすることが出来る。都市全体をワークスペースと捉えることで、働き方はもっと自由になるだろう。ワークタイムの30%を占める社外にいる時間の有効利用は、仕事のやり方や時間の使い方の、打合せ方法、ワークスタイル、個人の時間感覚を変えるきっかけになる。

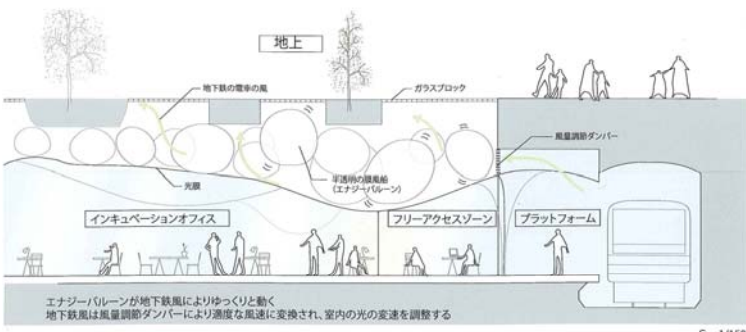
METHOD

■知的生産性を増強する要素

- 4つの知的生産性を高める要素を取り込んだ建築計画とする。
 - ①光の演出による変化のある環境の創造
変化はリフレッシュ、気づき、発見、やすらぎ、脳の活性化を促し、創造的思考能力を増強する。太陽の光、街のネオンを地下鉄の風を利用し、変化する環境をつくる。
 - ②コミュニケーション
不特定多数の人々が利用することによって偶発的な出会いの場を創出する。
 - ③意欲の増強
多くの人々に作品を発表したり、見てもらえる機会を設ける。見る、見られるの関係によって、創造活動の意欲が向上する。
 - ④快適な室内環境
地上の光を取り込むことで快適な光環境を実現するとともに、知的生産のために適切な室内環境を実現する。

SECTION

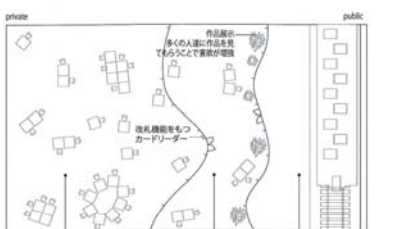
ガラスブロック、半透明の膜風船、光線を用いた屋根を提案する。地下鉄の風により、膜風船が動くことで光の粗面を作りだし、時間とともに光の様相が変化するような屋根をつくりだす。



PLAN

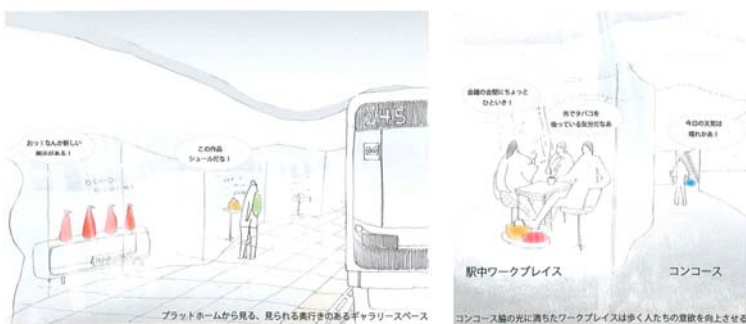
■駅中ワークスペース

人が有目無しの交通の結節点となる地下鉄のプラットフォームに隣接してワークスペースを創出する。ベンチャー企業や個人起業家などの育成・支援を行うことを目的としたインキュベーションオフィス、フリーアクセスゾーン、プラットフォームと、駅の持つユニークな空間を生かした3層構成となっている。



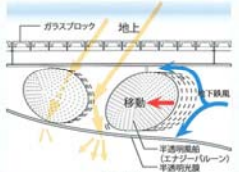
- インキュベーションオフィスゾーン
 - ・作品展示による自身の成果の発表 (意欲の増強)
 - ・様々な情報が集まる中でワーク (多様な刺激による気づきの創出)
- フリーアクセスゾーン
 - ・不特定多数の人との出会い (偶然のひらめき)
 - ・電車の待ち時間(ワーク時間の有効活用)
 - ・短時間の急ぎ合わせ (便利なワーク拠点)
- プラットフォーム
 - ・展示に隣接される (意欲の増強)
 - ・自由に入退席が可能

PERS



TECNOLOGY

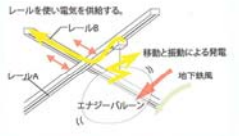
■地下鉄の風を利用した光の状態変化



ガラスブロックを通した光は半透明膜で構成された風船の透過・反射により光の粗面を作りだし、光線が拡散される。地下鉄風により天井内は負圧・正圧を繰り返し、電車の動きとともに光の状態が変化するシステムを作りだす。オフィス内は移動しやすくなる。

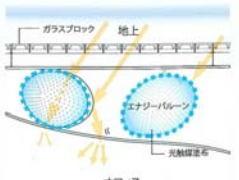


■地下鉄風から風船の移動による発光



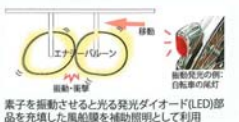
風船は、天井内に吊るされた二本のレールによって隣の風船にぶつかるとフリーに動く。揺動により生成された電気は、レールを伝わり、屋根下空間のメディアやタスク照明の補助電源として利用される。

■空気浄化



エナジーブルーの表面に光触媒塗料を塗布する。光触媒の殺菌作用で空気浄化を行う。

■振動による発光



素子を振動させると光る発光ダイオード(LED)部品を充填した風船膜を補助照明として利用

■床の蓄光による光環境の演出



床の上に蓄光素材を導入することで、床全体が光を溜めて、夜間もほのかに地下空間を照らす。